

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	帯広市総合ケアセンター 百年の森		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	介護との共生型なので幅広い年齢層の人たちと過ごすことができ、お互いに意識し合い、交流を通して挨拶や気遣いが期待できます。	一緒に楽しめる季節の行事を企画したり、日常のレクリエーションに自然と参加できるようにスタッフ間で話し合っています。	介護側と連携しながらレクリエーション以外の場面でも、いつでも行き来したりコミュニケーションができるような活動内容や場所を広げていきます。
2	保護者からの相談に対して、丁寧に相談に応じています。	事業所内に看護師、ST、柔道整復師も在籍しているので、お子様の状況を直接見て、個々に合わせた療育をする事ができます。	・引き続き、専門支援員のアドバイスの活用をしていきます。 ・セルフプランの利用者様、ご家族様の困りごと、ご相談に応じ、ケア会議等が必要な時は事業所側から提案していきます。
3	長期休みや季節に応じて、調理や緑日、郊外療育等行っています。	調理や緑日は子ども達と一緒に企画、計画を立てたりして準備から片付けまで子ども達と行っています。安心安全に遊べる場所に見学に行ったり、体験先と打ち合わせをして計画を立てています。	引き続き子ども達の希望を聞きながら計画を立案したり、天候や年齢に応じた体験できる場所を増やせるように、地域の情報を収集したりしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家庭との連携は電話やメール、面談で随時対応しているが、連携にばらつきがある。	面談の実施については随時周知しているが、浸透していないようで、家庭との連携にばらつきがある。	ご希望に合わせて面談ができる事をお便りや送迎で直接お会いした時に、お伝えしていきます。
2	家庭からの提出物が入った連絡袋の確認不足。	子どもに連絡袋を提出するよう声をかけただけでカバンの中を確認していなかった時がありました。	連絡袋が入っているかどうかを子ども達と一緒にカバンの中を確認していきます。提出物の受け渡し方法を再検討していきます。
3			